



# はるあもりほい

●医療法人創和会広報誌はあもりにい / 発行 医療法人創和会 理事長 重井文博

令和5年6月1日発行

## 創和会創立65周年を迎えて

理事長 重井 文博

創和会創立より65周年を迎えることができましたのは、全職員の皆さんの並々ならぬ努力と協力の賜物と心より感謝いたします。また、本日10年、20年、30年と病院に貢献した皆さんを表彰できますことは、誠に喜ばしい限りです。皆さん節目の年を迎えるにあたり、今までのことを思い起こし、これからの目標を心新たに、更なる活躍を期待しております。

最近はやりの、オットGOT。いや、チャットGPT。AIの時代ですね。こういう講演もAIが原稿を作る時代にすでになっているようで。財務の話など難しい話、しんどい話は全部院長に任せて、私は楽しい話だけ、原稿無しでさせていただきます。

早島駅徒歩7分  
早島町役場となり

しげい腎クリニック早島 2024年初夏開院  
～透析専門クリニック（同時透析30ベッド）～



### ■しげい腎クリニック早島

創和会初めてのクリニックで、開院は来年の初夏。スタートまでに余計な日時がかかればそれだけ費用もかかります。費用がかかれば返済に日時がかかる、あるいは最悪返せなくなる。そういうこともあって、準備周到、適切なタイミングでオープンしたい。特に若者夫婦が増えているという、県内外でも珍しい人口増加の早島町。そして町の中でも将来性ある、良い立地だと思います。皆さんこの一員だと思ってください。

災害に強くという思いでソーラー発電をフルに設置し、敷地を1m地上げします。内水氾濫（1m弱）での想定ですが、万が一南海トラフ地震で大津波襲来としたら、ここ早島まで到達するかも。児島湾から11kmと距離はあるがしかしフラット。地名は早島のごとく、このあたり元は海ですものね。

■ 幸町記念病院

**幸町記念病院との  
現場交流が始まりました**

瀬戸大橋線 大元駅 徒歩 1分	
許可病床数 35床	
同時透析 80ベッド	
透析患者数 210人	
職員数 80名	

幸町記念病院との交流が始まりました。我々はグループ化した訳です。病院仲間2つが3つになったと思ってくれたらよいです。今、岡山県で一番透析患者数の多いのは研究所附属病院、その次がしげい病院。幸町記念病院も加わって、多くの透析患者さんを見ることとなり、私たちの責任は重大です。

▶ 2月 臨床工学技士が情報交換  
重井医学研究所附属病院にて



重井医学研究所附属病院 | 幸町記念病院 | しげい病院

2月には3病院で交流が始まりました。本部でいろいろ整えようとしているうちに、幸町記念病院より声がかかったのことで。研究所附属病院に3病院の臨床工学技士が集まって情報交換第1回目です。おかげで良いスタートが切れたと思っています。

▶ 4月 広報誌「はあもにい」合同編集会議  
幸町記念病院にて



「はあもにい」編集委員 | しげい病院 | 研究所附属病院 | 幸町記念病院

第2弾は4月、広報誌「はあもにい」編集チームでした。編集委員が集まり、幸町記念病院に向いての交流と、今後の打ち合わせがありました。5月には幸町記念病院広報担当の方とともに、重

井医学研究所に集まります。さらにはしげい病院にも集まり、病院や倉敷昆虫館、重井薬用植物園を観てもらいます。

**スケジュール**

- ▶ 5月
  - ・幸町記念病院の広報担当者が研究所取材
  - ・「はあもにい」合同編集会議@しげい病院  
しげい病院・昆虫館・植物園見学予定
- ▶ 6月
  - ・合同新任役職者研修開始 6/20～ 12月迄全4回
  - ・合同新任所属長研修開始 6/27～ 10月迄全5回

⇒しげい病院と附属病院間で毎年行っている人事交流。  
本年度は幸町記念病院も含め3施設間交流を計画中！！

6月は合同新任役職者研修、合同新任所属長研修ですが、これに幸町記念病院も参加します。そして毎年実施している病院間の人事交流にも加わることとします。心を通ずる仲間になろうということで、交流はすでに始まっています。

■ へき地医療支援

**へき地医療拠点病院 成羽病院  
認知症診療の継続と脳神経内科診療開始**

▶ 毎月第2・4木曜日  
しげい病院  
辻脳神経内科部長




創和会の進めているへき地医療支援のひとつは高梁市国保成羽病院です。2週に1日の認知症診療ですが、今年度からは神経難病についてもお引き受けしており、良い貢献になっていると感じています。

**新見クリニック**

- ▶ 岡山県医師会透析医部会からの要請
- ▶ 毎週 水・木・金  
両院から派遣
- ▶ 同時透析 32ベッド
- ▶ 透析患者数 80人  
新見唯一の透析施設



もうひとつは新見クリニック（透析専門）です。JR倉敷駅からJR伯備線特急で1時間。県医師会透析医部会からの要請でスタートしたもので水木

金の週3日、両院から派遣しています。これ以外の曜日は川崎医大病院、鳥取大学附属病院からの派遣で、3つの施設で支えているということです。

新見クリニック  
(5/4山西医師診療日の様子)



先日、山西先生が行った時に地域連携の佐伯課長が同行、写真を撮ってきてくれました。(佐伯課長が山西先生の一日に密着。本誌8ページで紹介しています。)

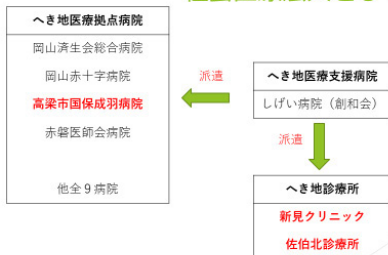
佐伯北診療所への派遣を開始しました

- ▶ 赤磐市からの要請
- ▶ 毎月第3木曜日  
本年は附属病院から派遣
- 4月20日 真鍋院長
- 5月18日 山本診療部長 予定



あとひとつ、赤磐市国保佐伯北診療所で、赤磐市からの要請です。スタートしたばかりで、毎月第3木曜日、初回は4月20日に真鍋院長が行き、5月には山本診療部長とのこと。こちらの方は今後どうなるか手探りの状態です。同診療所を医師派遣で支えているのは岡山大学病院、岡山済生会病院、赤磐医師会病院で、我々もその一員に加わることです。方向からして、創和会は研究所附属病院が中心で支援していくと考えています。一方、県西部の高梁、新見エリアは、どちらかというとしげい病院でしょう。

へき地医療支援 (公的役割)  
社会医療法人として



スライドに創和会の立場をシェーマとしてまとめました。

右上の**へき地医療支援病院**、我々はこういう病院として手を挙げています。そして右下の行政から指定を受けた**へき地診療所**に派遣しています。赤磐市の佐伯北診療所は、行政からの依頼。新見クリニックは、県医師会透析医部会からの依頼での支援です。

一方、左の**へき地医療拠点病院**には、済生会とか日赤とか、元来の役割として医師をへき地に派遣する公的病院があります。そして成羽病院タイプの公立病院で、へき地における診療の核となり、へき地診療所をいくつか管轄し、実診療する病院があります。成羽病院本体を支援するのがしげい病院。診療所に行くのではなく、拠点となる病院を支援します。

(5月26日にしげい病院は、へき地医療支援病院の指定を受けました。)

みんなで止めよう温暖化 この美しい地球と自然を 子供たちのために



「みんなで止めよう温暖化 この美しい地球と自然を 子供たちのために」。省エネをすること、イコール子供たちのためになることだと思いません。

写真は自作で、もう15年以上前からこのスライドでスピーチ終わりとしています。ご清聴ありがとうございます。

(5月12日 創和会創立65周年記念日 理事長挨拶より抜粋)

永年勤続の 23 人の方、皆さんのおかげで、創立 65 年目を無事に迎えることができました。心から感謝します。これからもよろしくお願い致します。

本日は経営状況と年間目標についてお話ししたいと思います。(以下 院長挨拶より抜粋)

病院ビジョンでは、まず社会医療法人化を目指すということを明確にかかげました。社会医療法人化は、三祥会との合併やクリニックの開院などをひかえ、今後の創和会・しげい病院の発展にとって欠くことはできません。次に、単に業務を IT 化することではなく、IT 化により新しい価値、新しい働き方といった新しい医療の形を作っていくという意味で、医療 DX 推進をかかげました。

年間重点課題については、今年度は新たに 2 項目が追加されました。病院機能評価受審準備とエネルギーコスト

CO2 排出削減の推進です。本日は①番から⑤番までの課題について説明したいと思います。

#### ①腎・透析領域で地域医療に貢献

しげい腎クリニック早島開院の支援、将来の合併に向けた幸町記念病院との交流促進、そして社会医療法人化に向けた新見クリニックの支援については確実な継続が必要です。

#### ②地域ニーズに合わせた病棟機能再編

今年 1 月に本館 3 階を地域包括ケア病棟に変更しましたが、今後は本格的な病棟機能再編を進めていきます。そのために地域のニーズをしっかりと把握したうえで自院のポジションを確立し、ポストコロナを見据えた病棟機能再編に取りかかります。また今後患者の増加が見込まれる心不全診療を CKD・リハビリテーションに続く新たな診療の柱と位置づけ、倉敷中央病院との連携を更に強化します。

#### ③入院から在宅まで切れ目なくカバーする質の高いリハビリの提供

回リハ病棟の体制見直しでチーム医療をさらに推進します。カンファレンスの充実が病院機能評価受審の鍵を握っています。そのためには体制の大きな変更が必要です。医局の先生方の協力も欠かせません。田中義人先生のリーダーシップのも

と一丸となって進めていきたいと思います。

#### ④院内 IT 推進と情報管理の強化

現在 1 人 1 台のスマートフォン環境構築の基盤づくりとして、ネットワーク整備を行っています。いきなり 1 人 1 台は無理としても、今年度中にスマートフォンを導入します。また、1 人 1 台のスマートフォン環境を見据えて Garoon や電子カルテを含めた効率的かつ一体的な活用と運用ルールについても議論する必要があります。

#### ⑤全職員で 2024 年度病院機能評価受審準備

2026 年診療報酬改訂で回リハ入院料 1 の施設基準に病院機能評価認定が条件となる予定です。リハビリテーションを診療の柱と位置づける当院にとって認定は必須です。またリハビリ分野に限らず病院全体の診療の質を高めるという意味でも機能評価を受ける意義は十分にあります。2025 年 6 月の受審に向けて全職員で準備を進めていきたいと思います。

最後になりますが、創和会の由来を皆さん御存じでしょうか。これは先代理事長の重井博先生が創立 30

周年の挨拶で話された言葉です。人の和を創る創和会。大変素晴らしい名前です。人の和を創り、職員が心をつなげて、同じ目標に向かって進んでいける職場をつくるのが大切だと思っています。

司馬遼太郎の「坂の上の雲」という小説をご存じでしょうか。明治維新を経て日露戦争に勝利するまでの我が国の歩みをテーマにした小説です。坂の上の雲を目指して、険しい道ではありますが、みんなで登っていきたくと思っています。今は稼働も落ちてどん底状態ですがピンチはチャンスです。頂上に到達した時には大きく開けた美しい世界がひろがっていることでしょう。その頂上を目指して、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。



2023年度

➤ 病院ビジョン

透析とリハビリテーションを中心に地域医療に貢献する

2024年度の社会医療法人化をめざし、高梁川流域のへき地医療を支援する

医療DX推進と人材の確保・育成に努め、診療の質向上をはかる

➤ 病院目標 年間重点課題

- ①腎・透析領域(CKD診療)で地域医療に貢献
- ②地域ニーズに合わせた病棟機能再編
- ③入院から在宅まで切れ目なくカバーする質の高いリハビリの提供
- ④院内IT化推進と情報管理の強化
- ★⑤全職員で2024年度病院機能評価受審準備
- ⑥職員育成強化と研修・学会等への参加推進
- ★⑦エネルギーコスト・CO2排出削減の推進

創和会の由来は

ご承知の如く、病院は多種多様な専門職で構成される組織で、「天の時、地の利、人の和」という言葉がありますが、人の和を創ることが何よりも大切と思い、医療法人創和会と名付けた次第があります。

医療法人創和会 理事長 重井博  
創立30周年挨拶(創立30年誌より)

# 永年 勤続者表彰

## 研究所附属病院

30 年表彰  
井上 英子

20 年表彰  
高本 真由美  
山本 裕美  
松久保 稔  
石原 美幸  
伊藤 郁美

10 年表彰  
井本 知子  
平野 圭子  
古市 たまき  
松田 美華  
池内 文紀  
川田 由美  
稲野 茂行  
小原 哲夫  
菊川 智  
藤田 沙織  
亀山 千賀子  
前原 さゆり  
赤澤 佑太  
板野 恵理  
湯浅 靖子  
永井 千種

謝辞

創和会創立記念日であるこの佳き日に、永年勤続の 22 名に対して盛大な表彰式を挙げていただき嬉しく思います。受賞者を代表して心より感謝を申し上げます。

「仰げば尊し」の歌中にある「思えば」と疾し この年月」という一文同様に振り返りますと、入職や、部署変更で新しい学びを受ける時、また、やっとの思いで覚えた学びを他者に伝達する立場になった時、様々な体験に緊張したことが思い出されます。

そのような体験の中、思わぬ出来事に涙するなど一喜一憂しながら日々を過ごして行くうちにいつの間にか 10 年・20 年・30 年という時が経っていました。

ここまで私たちが勤続できたことは、職員が安心して勤められるように創和会という基盤を支えてくださっている理事長、研究所附属病院をまとめ、病院の行く方向を示してくださる病院長、至らぬ所を教導いてくださる先生・上司・先輩方、様々な出来事に対し共に挑み励んできた同僚・後輩、多くの皆さまの支えがあったからと振り返ります。

これからも私たちは各専門職としての責務の中それぞれの立場と役割を考えながら誠心誠意努めて参ります。今後も一層のご指導とご助力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、創和会ならびに病院の益々の発展を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



▲謝辞

令和 5 年 5 月 12 日  
永年勤続者代表 井上 英子



▲表彰状・記念品授与

しげい病院

30 年表彰

友國 直子  
田邊 明子

20 年表彰

西濱 美絵  
大岸 絵理子  
寺阪 久美  
濱邊 早百合  
前川 貴香  
松岡 繁生

10 年表彰

伊藤 亜由美  
實丸 真理  
齋藤 有希子  
山本 麻里子  
高見 里美  
榊原 史絵  
竹野 陽子  
伊達 初美  
谷口 由加理  
三宅 美穂  
加藤 健一  
小林 利恵  
榊原 直樹  
白神 卓哉  
三宅 雄一郎

謝辞

本日、創和会創立記念日であるこの佳き日に永年勤続表彰者 23 名の表彰式を挙げていただき、心よりお礼を申し上げます。代表して一言ご挨拶を申し上げます。

10 年、20 年、30 年と長きにわたり、勤続できましたことは理事長、院長をはじめ諸先輩方、同僚の皆さま方のご指導・ご協力そして励ましがあったからこそと深く感謝いたしております。

就職してからの 30 年を振り返りますと、時代の流れとともに医療情勢の変化に対応しながら地域医療に必要とされる病院を目指し発展してまいりました。

私自身のことを振り返りますと、入職後事務部総合受付に配属になり、病院の顔とも言える場所で緊張しながら勤務していたことが懐かしく思えます。時は流れ、事務部から医療支援部へ部の名称も代わり、医療を支えていく立場である事務職員も、チーム医療の一員として活躍していく立場へと変わりました。事務職に求められることのハードルも年々上がってきておりますが、必要とされる部門として更に向向していきたく思っております。

私生活でも子育てと仕事との両立で大変なこともありましたが、働きやすい環境や上司・同僚に恵まれたこと、また家族の協力、応援のおかげで今があると心から感謝しております。

ここ 3 年間で、新型コロナウイルス感染症で病院の状況も一転しました。昨年度は 5 回の院内クラスターを経験しつつも、透析患者の感染者の受け入れも行っていました。「生きることの尊さ」と健康であることの幸せを、すべての人と共に」とある創和会理念がぶれることなく、地域医療に貢献しているしげい病院の一員として従事できていることを誇りに思います。5 月 8 日より新型コロナウイルス感染症も 5 類となりましたが、まだまだ油断のできない状況です。しかし危機的状況を乗り切った私たちだからこそ、次なる挑戦へと向かっていけると信じております。

本日のこの表彰に報いるためにも、感謝の気持ちを忘れることなく、笑顔を絶やさず、それぞれの立場で責務に精進する所存でございます。今後とも引き続き一層のご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願いすると共に、創和会及びしげい病院の益々のご発展を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



▲謝辞



令和 5 年 5 月 12 日  
永年勤続者代表 友國 直子

## しげい腎クリニック早島の造成工事、進行中！

研究所附属病院 事務部 総務課 栗原 玲音

しげい腎クリニック早島の造成工事が開始されて早1か月が経ちました。

4月に入って工事前の写真を撮りに行った時には緑一面だった土地も、現在では重機が忙しく動いています。工事初日は10tダンプが何台もやってきては土を降ろし、降ろした土をショベルカー

などが均していました。現在はクレーン車などが入り、周りの用水路部の土地拡張工事などを行っています。9月までこの造成工事があり、その後建築工事が着工する予定となっています。

今後も進捗などを研究所附属病院 Instagram で発信していますので、是非チェックしてみてください！



## 倉敷昆虫館

～おかやまけんしぜんかがくスタンプラリー開催中～

倉敷昆虫館 岡野 貴司

令和5年度に、周年記念日を迎える県下の自然科学系博物館・施設の記念事業として、倉敷市立自然史博物館などが中心となってクイズラリーとスタンプラリーが企画されました。

これを今年度は周年記念日には該当しない博物館・施設も含めて広く呼びかけたところ、18か所から参加希望が寄せられました。その内訳は周年記念日を迎えたところが7か所、そうでないところが11か所で、後者はスタンプラリーのみの参加になります。倉敷昆虫館は昭和37年(1962年)開館で今年度61年目になりますので、後者のグループに属します。

スタンプラリーのルールは、各博物館・施設を巡ってスタンプを押してもらい、3個集めるごとに景品がプレゼントされるというものです。倉敷昆虫館の来館者は子供たちが多く、しかも低年齢層が中心であることを考慮して、写真のような昆

虫消しゴムを選びました。

実施期間は、4月29日～12月31日です。コロナ禍で来館者の減少が続いていましたが、行動制限も緩和される傾向にあり、この事業をきっかけに自然科学への関心が高まって、以前のような賑わいが戻ってくることを願っています。



# 新見クリニックでの 山西 あさみ先生 (しげい病院)の一日

GW中のある快晴の日に、地域連携室の佐伯が本誌の取材とご挨拶を兼ねて新見クリニックに伺いました。渋滞はありませんでしたがまずまずの車の台数の中、山陽自動車道を北上、中国横断自動車道への分岐点へ、「あれっ?! 新見方面へは私の車だけ?」…ゆっくりと新緑を眺めながらの快適なドライブ、新見I.Cで降りました。

新見クリニックは旧郵便局を再利用し2010年に岡山県北地域の透析専門クリニックとして開設。住み慣れた土地での充実した透析ライフを継続してほしいという先代の仙田医師の思いを今も繋ぎ、新見市唯一の無くてはならない透析クリニックとして地域に愛され続けています。創和会として支援に参画できることを、改めて誇りに思えた一日でした。(佐伯)

7:20



自宅を出発。

高速道路を使用し安全運転で

冬季の降雪時期は特急やくもへ乗車のため、6時には家を出ることも。交通状況によっては、前日に新見入り、ビジネスホテルで前泊。



山西 あさみ先生



8:30

病院到着

2階の院長室で白衣に着替え、貴重品をロッカーへしまい、1階へ。医師の到着後、血液透析開始  
本日の透析患者さんの血液データのチェック  
月曜と火曜日：注射薬  
水曜と木曜日：定期処方薬



10:50

輸血のクロスマッチ結果の確認



12:00

院長室にて昼食

この日のメインは牛肉です。栄養管理され美味しいとのコメント



11:00

医師の回診

栄養指導の指示入力  
運動療法患者さんへのコメント入力



14:40

異常なく患者さんの透析が終了したことを確認後、帰宅



新見クリニックは自然豊かな環境で、今年も玄関前にはツバメが巣を3か所作り、安心して子育て中!

13:00

透析終了

事前に予約した患者さんたちは、持ち帰り弁当を持参し帰宅





## 知ってる？創和会グループ 「幸町記念病院 職員食堂」

4月12日（水）、広報誌はあもにいの打ち合わせのため、しげい病院・研究所附属病院の編集委員で幸町記念病院を訪問してきました。

打ち合わせ後に、幸町記念病院の草分事務長に病院内を案内していただき、特に印象に残った職員食堂などについてお話をうかがいました。

幸町記念病院の職員食堂のご飯は、病院の管理栄養士2名、調理師6名で作られていて、職員は患者さんと同じ食事を食べられているそうです。患者さんも食事を毎回楽しみにされているようで、「いつも今日のランチはなにかなあ」と、家で奥さんと話題にしているよ」と、受付にお話しに来てくださった患者さんもいるそうです。

職員の食事には、患者さんには出ていない汁物が追加でつくこともあるそうで、味付けがとても美味しいそうです。研究所附属病院もしげい病院も外部の業者が職員の食事を作っているため、病院職員が作っているというのはとても新鮮でした。

また職員食堂にはお茶席ができる和室があり、コロナ感染症が流行する前は、宮崎院長が職員やセミナー・講座後の患者さんにお抹茶を振舞われていたそうです。部屋には素敵な掛け軸がありこれも宮崎院長が飾られているそうです。

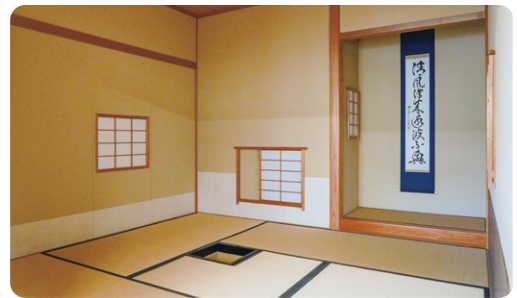
病棟を見学させていただいた際には、窓にはカーテンではなく障子が使われていて、和のテイストでとても温かい雰囲気を感じられる素敵な空間がたくさんありました。（井上）



▲幸町記念病院 草分事務長に院内を案内してもらいました



▲厨房の様子



▲食堂横にはとても素敵なお茶席があります



▲窓には障子が使われていて、とても温かい雰囲気の病棟です



▲おでん・回鍋肉・牛肉コロッケ・鮭そぼろ五目寿司などメニューは日替わりで、いつも皆で楽しく食べています！



## 催し物案内

重井薬用植物園

### 植物園を楽しむ会

「くちなし香る入梅を楽しむ」

日時：6月11日（日）

10：00～12：00

会場：重井薬用植物園

## 編集後記

●コロナ禍で、ここ数年は子供と屋外でバドミントンを楽しむようになりました。経験者としては、シャトル（羽）が風の抵抗を受けて打ちにくくて仕方なく、何かないかと探してみると、やはり需要があるようで大手のメーカーがアウトドア用のシャトルを販売しているではありませんか！“これは遊びながらも本格的にしたい”と思ってしまい、アウトドア用のネットも購入し、子供と楽しむようになりました。遊びが目的だったので、あまり教えていなかったですが、その子供も中学生。映画で再燃のスラムダンク：バスケットボールにも夢中にはなりましたが、部活はバドミントン。鈍っている身体を少しでも鍛え直しながら、親子で競い合えることが楽しみ、楽しみ。  
(WR)

●この度、新しく編集員の仲間に入れていただけることになりました。5月から、コロナが5類感染症へ変更となり、公共交通機関やショッピングモールなどではマスクを外している方を多く見かけるようになりましたが、皆さんのまわりで変化はありましたでしょうか？私自身は今までの習慣もあり、外でもマスクを着用していると家族から「外さないの？」と言われることも。それでも無意識に着用している現状です。行事や祭事も徐々に再開となってきたので、体調管理に気を付けながら楽しめればと思っています。  
(OK)

## 「情けは人のためならず」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

突然ですが、「情けは人のためならず」という諺（ことわざ）はどちらの意味で使いますか？

- (ア) 人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる
- (イ) 人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならない

正解は（ア）ですが、「国語に関する世論調査」（平成 22 年）の正答率は 45.8% でした。（イ）の意味で理解し、使う人も半数近くいますから、「情けは掛けられない方がよい」と思う方もいらっしゃるかもしれませんね。

人に親切にすると、巡り巡って自分のためになるという諺、このままの意味だと、巡り巡らないと自分のためにならないとも言えます。また、直接的に親切な行動に対して相手に対価を求めるならば、それは親切な行動ではなく、見返りを求める行動になってしまいますよね。

ところで、親切な行動の影響について、心理学者のリュボミアスキーは実験をしました。被験者には、6 週間の間、1 週間に 1 日だけ親切な 5 つの行動を行うように伝えたのです。すると、実際に行った被験者の幸福感が高まったというのです。実験条件を変えて検証した結果から、定期的に行う親切な行動は、本人の幸福感を高めることが分かったのです。つまり親切な行動は、巡り巡らなくても幸福感を行為者にもたらしてくれるのです。

同じく心理学者ノートンの実験を紹介しますと、彼はお金を自分の所属する職場やスポーツチームのために使うグループと、自分のために使うグループで、チームのパフォーマンスがどうなるかを比較したのです。その結果、チームのためにお金を使ったグループの方がパフォーマンスが向上しました。親切な行動をチーム内で行うことで、チームのパフォーマンスがあがるというのは驚きですね。

こう考えていくと、親切な行動の結果は巡り巡らなくても、自分、そして自分が属するチームのためになるということになりますね。

人への親切は、“相手にそれをどのように受け取ってもらえるかわからない”という難しさはありますが、親切な行動は人のためだけでなく、自分の幸福度を高められるようです。



※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

### しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

### 岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所  
〒710-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

### 重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

### 倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所  
〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

### 重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20  
TEL086(423)2396

### 重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117  
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

### 倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30  
TEL086(422)8207